

南種子町地域公共交通活性化再生協議会

平成20年3月7日設置
平成21年3月19日連携計画策定



概要

バス路線の廃止により、交通空白・交通不便地域が発生しており、この解消を図るため、バス車両を購入し、地域福祉バス・スクールバスの実証運行を実施し、利用促進を図る。

○福祉バスの運行

大型バス車両2台を購入し、実証運行を行い公共交通の空白地域、交通不便地域の解消を図るとともに、病院・学校等へのアクセス向上と、海上交通や飛行機、路線バス等の幹線交通との連携を図り、住民生活の質的向上を図る。

○停留所・待合所機能の充実

町内の58集落に可能な限り停留所を設置し、「宇宙のまちな南種子町」をイメージできるような停留所の設置と高齢者等が利用しやすい待合所機能の充実を図る。

○公共交通の利用促進策の実施

バスマップを作成し、町民全戸に配布しバス利用の促進を図る。また、老人クラブ等を通じて、高齢者等への説明会やPRを十分に行ない、地域福祉バスの利用促進を図る。

その他、町広報紙への掲載や、防災行政無線による広報活動を行ない、協働による利用促進策を実施する。

